

GIGAスクール3年目～今年度もスタート Mナビ新聞～

総合教育センター情報教育班では、令和4年3月から「Mナビ新聞—情報教育通信—」として、教育の情報化に関する情報提供を行ってきました。これまで、毎月1回計13回発行しましたが、令和5年度も月1回発行し、情報教育に関する情報発信を継続していきます。

令和3年度から実質的な運用がはじまったGIGAスクール構想は、今年度で3年目を迎えますが、この3年間で様々な成果がありました。その一つに、「1人1台端末が整備された環境での授業」があります。

StuDX Styleに掲載されている東北大学大学院・堀田龍也教授の記事を引用すると「端末の活用が進んでいる地域では、ずいぶん授業が様変わりしています。先生の教える時間が徐々に減って、子供たちが自分で問題を解決する授業に大きく変わってきています。」(引用:https://www.mext.go.jp/content/20230331-mxt_syoto01-000027597_1.pdf)とあります。デジタル教材の充実、学力調査のCBT化、スタディログの活用など、これからは一人一台端末の活用が前提となってきます。GIGAスクール3年目を迎えた今年度は、学習者が端末を日常的に使うこと、教育データ活用などが更に進むことが予想されます。Mナビ新聞でも、多くの学校や先生方の実践例を発信していきたいと思えます。

参考資料



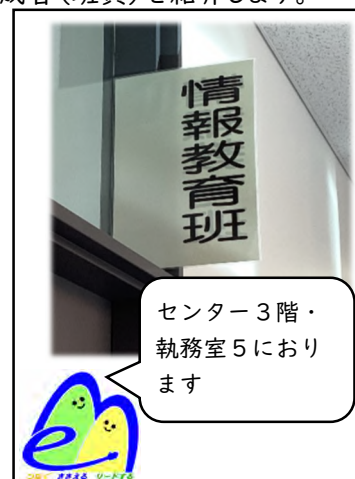
文部科学省ウェブサイト：StuDX Style

発行にあたって

今年度の情報教育班です。よろしくお願いします。

今年度のMナビ新聞は、この5人のメンバー(情報教育班)で作成します。作成者(班員)を紹介します。

氏名	主な担当研修会
針生 智之	班長 研修会等の総括
遊佐 賢	教科指導におけるICT活用リーダー養成研修会 iPadを活用した授業づくり研修会
赤坂 圭介	小学校プログラミング教育研修会 小学校プログラミング教育リーダー養成研修会
三浦 智	一人一台端末時代の情報モラル教育研修会 Google Workspaceを活用した授業づくり研修会
千坂 大輔	情報メディア研修会 Officeソフトを活用した校務改善研修会



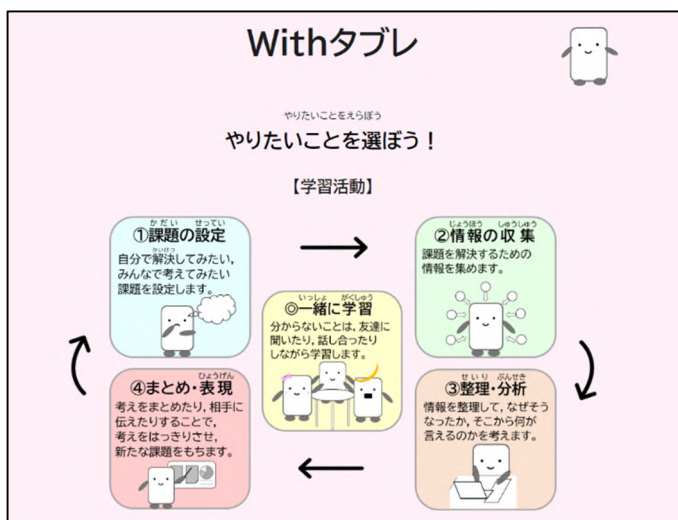
県内の先生方からのご感想・ご意見・ご要望を随時募集

Mナビ新聞では、皆様からのご感想・ご意見・ご要望を募集しております。右記の二次元コードからフォームに記入していただくと幸いです。



今年度の M ナビ新聞では、ICT 活用の実践事例を紹介していきます。次号から、令和 4 年度の専門研究・教育の情報化グループの研究成果物である「With タブレ」を使った実践を紹介しします。そこで、今回は、この「With タブレ」について紹介します。

「With タブレ」は、児童生徒の資質・能力の育成を目指し、主体的な学習者を育てることをねらいとした学習支援 Web サイトです。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けて、探究的な学習活動において、児童生徒自身が自ら学びを選択し、取り組み、解決していけるように次の3つのステップを意識して作成しました。



① 児童生徒が主役となる授業の考え方

児童生徒に委ねる学習機会や、児童生徒の多様性を尊重できるように、単元全体の授業を考えましょう。学びの主役は児童生徒です。児童生徒に単元のゴールと学ぶ内容、単元の流れなどを伝えた上で学習に臨ませます。

② 児童生徒が自分で選び、行動する学習場面づくり

学習方法は、児童生徒の実態に応じて多様な選択肢があり、自己決定ができる学習場面を設定しましょう。試行錯誤しながら目標に向かわせることが大切です。同じ授業時間に、同じ学習方法にさせる必要はありません。児童生徒の興味・関心や学習状況の実態に応じて学習を進めていきます。

③ 目標達成(ゴール)のイメージを持たせる

児童生徒自身が目標に向かって取り組めるようにサポートやファシリテートをしましょう。学び方が異なっても、最終的に単元を通して到達目標に達していることが大切です。

次号は、With タブレの作成者の一人である、東松島市立大曲小学校・小野寺陽先生の実践をご紹介します。

研修会情報

総合教育センターの研修会で持込端末が利用可能に

当センターでは、今年度 4 月から所内での研修の更なる充実を図るため、ネットワークシステムを更新しました。その一つとして、研修会の更なる充実を図るために、BYOD を導入しました。研修会での使用を原則に、私物端末(持込端末)をネットワークに繋ぐことができます。研修会でのクラウド使用、模擬授業等での持込端末の使用が可能になります。今後当センターでも ICT を活用した研修の充実を図っていきます。詳細については、本センターの研修会を受講する際に、お知らせしますが、事前に持込端末を使用するか、使用する際にネットワーク接続が必要かどうかをアンケート等で調査させていただく場合がありますので、ご協力をお願いします。なお、持込端末の使用については、本センターホームページに利用規約を掲載していますのでご参考ください。

編集後記

春の訪れが早く、季節は初夏を迎えようとしています。センターでの研修会もスタートし、県内の先生方とお会いできる機会が増えてきました。「これまでオンラインや動画で見えておりました。お会いするのは初めてです」とお声掛けいただくことも多く、ここ 2 年間集合型の研修会が思うようにできなかったことがうかがえます。ぜひ、来所の際は学校での ICT 活用の状況や悩みなどをお聞かせください。(14 号担当 遊佐)